街と人とをつなぐ、地域情報紙

平成２５年４月１日合同庁舎落成記念号

むれコミュニティ協議会

http://wwwc.pikara.ne.jp/murecomm/index.html

事務局　高松市牟礼町牟礼
牟礼コミュニティセンター
TEL:087-845-4111　FAX：087-845-4112

新牟礼合同庁舎 建家が完成、業務開始！

高松市牟礼支所
牟礼コミュニティセンター
牟礼保健センター
地域包括センターサブセンター牟礼

２月２８日、牟礼支所駐車場付近に建設が進められていた一部二階建て新牟礼合同庁舎が落成しました。アプローチの腰壁に庵治石を用い、内側には木のぬくもりが感じられるつくりで、新しい牟礼のシンボルの誕生となりました。

牟礼支所・保健センター・地域包括センターは３月４日から業務を開始し、４月１日からはむれコミュニティ協議会が指定管理者として牟礼コミュニティセンターの業務を開始します。

平成25年2月28日高松市牟礼支所、牟礼コミュニティセンター、牟礼保健センター、地域包括支援センターサブセンター牟礼の落成式が同ホールで執り行われました。

１４７平方メートルの広さを持つホールには、岸本高松市副市長をはじめ、大浦高松市議会議長、同会総務消防常任委員、同会教育民生常任委員の議員各位、高松市牟礼地区地域審議会委員、地元団体代表者を含め約１００名が式に出席しました。

岸本副市長の開式挨拶から始まった落成式は、地元議員や高松市コミュニティ連合会の滝川会長の祝辞、加藤市民政策局長から工事経過の説明があった後、建設に携わった工事関係者に岸本副市長から感謝状が贈呈されました。最後に地域を代表して、大林むれコミュニティ協議会会長が謝辞を述べて式を終了しました。

式に出席した来賓からは、「高松市の東玄関口にふさわしい立派な建物だ。この建物にふさわしい地域をつくっていただきたい。」と賛辞が多く寄せられました。

コミュニティセンターで何ができるの？

施　設　紹　介

○牟礼コミュニティセンター(新庁舎内)
（高松市牟礼町牟礼 302 - 1　　☎845 - 4111）
・大ホール(147 ㎡ - 100 名程度)
・会 議 室(38 ㎡ - 16 名・60 ㎡ - 40 名
53 ㎡ - 30 名程度)
・料理教室

○大町コミュニティセンター(旧ユーカリ会館)
（高松市牟礼町大町 1463 - 2　　☎870 - 1306）
・大ホール(186 ㎡ - 130 名程度)
・研 修 室(32 ㎡ - 16 名程度)
・和　　室(12 畳)

（両ホール 2 部屋に区切って使用できます。）

開館時間
□　月曜日～土曜日　午前 9 時～午後 10 時
□　日曜日　　午前 9 時～午後　5 時

休館日
□　12 月 29 日～翌年 1 月 3 日
□　国民の祝日に関する法律に規定する休日

コミュニティ協議会・牟礼地区連合自治会
牟礼地区衛生組合協議会の事務局は牟礼コミュニティセンターに設置しています。お気軽にご相談してください。担当課の紹介などいたします。

コミュニティセンターの役割
◆まちづくり活動◆ふれあい交流◆生涯学習
◆地域情報収集・発信◆高松市との連絡窓口
◆災害時の避難所
幅広い世代の多くの皆さんにご利用頂きたいので、私たちにお気軽に声をお掛け下さい。

生涯学習講座

地域住民が、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興などを推進するための講座

○パソコン教室
○子ども英会話
○ママとベビーの体操教室
○地域で野菜を作ってみよう
○高齢者・女性教室
○家庭教育学級など

同好会活動・各種団体活動拠点

○同好会
生涯学習を目的とした
定期的な活動をしている団体
○貸し館
個人・各種団体
（地域の皆さんにご利用頂いております。）

○軽印刷機・紙折機がご利用できます。
○高松市指定収集袋の取扱いをしています。
○「コミセンだより」「ほっとつうしん」を発行しています。

コミュニティセンター職員

○牟礼コミュニティセンター
センター長　那須等
主任　田浦律子
むれコミュニティ協議会
事務局員　平田美智子
休日・夜間スタッフ
池内祥子、久保憲司、安川和子

○大町コミュニティセンター
主任　片山あゆみ、東牧子
休日・夜間スタッフ
小西健治、佐藤美幸、森崎幹雄

左上　片山・東
左下　平田・那須・田浦

昇降機設備工事・ビルシステム工事
三菱電機ビルテクノサービス株式会社
四国支社
高松市番町1丁目6番1号(住友生命高松ビル内)
TEL(087)822-6060　FAX(087)821-8963

太陽光発電工事
三協設備工業株式会社
Electricity equipment / pipe construction work
高松市西植田町701-1
TEL(087)-840-4456　FAX(087)-840-4457

旧庁舎の想起

旧牟礼町助役、牟礼地区地域審議会長　三野重忠

旧庁舎には多くの思い出があります。建設当時、牟礼町は高松市のベッドタウン化し、急速に人口が増えると共に業務量も増大し、事務所が手狭になった関係から、昭和48年12月に永い間の懸案であった庁舎建設に着手し、昭和49年10月29日に当時としてはモダンな6階建ての庁舎が完成し今日まで使用しましたが、完成までには紆余曲折がありました。

昭和48年に第4次中東戦争が激化し、いわゆる「オイルショック」と言う事で、いざ、工事に取かかるとセメントや鋼材と言った建築資材が不足して困難を極めましたが、当時の執行部と議会とが知恵を絞り見事に竣工させました。

取り壊しが決定した、牟礼支所（旧牟礼町舎）

2点目の思い出としては、庁舎内の事務改善を職員上げて取り組んだ点です。書類の処理の簡素化で、簿冊方式からファイル方式への転換でした。

3点目は、自治体の将来のあるべき姿、つまり、その自治体の長期振興計画の策定方法を関係者の協力で180度方向転換した事です。

まちづくりの主人公はあくまで住民であり、まちづくりは、住民と行政が協働して取り組むパートナーシップによる共同作業でなければならないと言う発想から取り組みました。

香川県下で初めての試みとして、24時間連続で住民が5つのグループに分かれ、行政のあり方から、未来に向かってこうあるべきだと言った活発な議論をし、それを持ち寄り、長期振興計画に生かしました。それがNHKで放送された事を思い出します。

旧庁舎は牟礼町のシンボルとして住民の皆さんに愛されて来ましたが、時代の流れで、新牟礼支所にバトンを渡す事になりました。最後になりましたが、旧庁舎には本当にご苦労さんと言わせて頂きたいです。

香川菊池寛賞受賞！

むれコミュニティ協議会　事務局長

松浦　隆行さん

むれコミュニティ協議会　事務局長でアイランドコート自治会の松浦隆行さんが、牟礼町出身で江戸時代の儒学者・柴野栗山の幼少期を舞台にした「たえと彦輔」で最高賞の香川菊池寛賞を受賞されました。牟礼から三年連続奨励賞に続き、ついに大賞の受賞です。

今回は過去最多の66編の応募の中、初の応募で最高賞を射止めた松浦さんにお話しをお伺いしました。

Q1　まずはじめに受賞の喜びを

名だたる諸先輩が応募する中で私のような初心者が入賞するなど天地がひっくりかえるほどと思っています。私の作品を評価して頂き感謝しています。

Q2　郷土の偉人　柴野栗山先生を題材にした理由は？

最初から牟礼を題材に時代小説をと決めていました。それならこの方を主人公にと思いました。実在した人物ですが、私のイメージでは栗山先生の若い頃って、こんな感じかなと思って書きました。

Q3　仕事・地域のボランティアなどでお忙し中いつ執筆されたのですか？

家族が寝静まった後一時間と電車・バスの通勤時間で約5ヶ月かかりました。

Q4　子どもの頃、本は好きでしたか？

昔から、好きというわけではありませんが人並みにハウツー本は良く読みますね。名作小説はちょっと苦手で……。

Q5　この作品が実写化されたら、ご自身は、柴野栗山の役で出演されますか？

柴野栗山先生役は大役ですから……。私は頑固なため池職人という感じですかね。

Q6　これから牟礼町とどう関わって行きたいですか？

今後もむれコミュニティ協議会を支える裏方で頑張りたいです。それと、違う形で牟礼を題材にした現代小説を書きたいです。この流れを止めないで、5年連続受賞者がでるといいですね。

松浦さんの紹介
昭和33年12月生（54歳）
善通寺出身
多度津工業高校卒業
一般会社入社後転勤族として西日本を回り平成14年に牟礼を安住の地とする。

イベント・行事等（H25・4月～H25・6月）

☆　はらハラ腹相撲

・日時：4月14日(日)
・場所：幡羅八幡神社
・主催：幡羅祭組

☆　あじストーンフェア２０１３

・日時：6月8日(土)　9:00～17:00
　　6月9日(日)　9:00～16:00
・場所：サンメッセ香川
・主催：讃岐石材加工協同組合

庵治石

庵治石は、山一帯が花崗岩の層からなる八栗五剣山から産出される鉱石です。 キメの細やかさ、優美な光沢、独持の色合い、重量感がおりなす自然美は、古来より高い評価され「花崗岩のダイヤモンド」と呼ばれている。

ピアノを譲って頂けませんか

新しいコミュニティセンターに備え付ける「アップライトピアノ」を譲って下さい。

譲って頂ける方は，牟礼コミュニティセンターまで連絡をお願いします。

TEL 845-4111

「みんなの里山」どななっとんな！

（第二回報告）

春の訪れとともに、里山に植栽したブルーベリーもすくすく育っています。

昨年の秋に生まれた子ヤギも日を追うごとに大きくなっています。

冬場は思ったように作業が出来ませんでしたが、畑には600本の玉ねぎを植えました。

今回は、ブルーベリー畑の除草と肥料やりをしました。この時期に堆肥を十分に施しておけば夏には沢山の実がつきます。

野鳥被害対策として早い時期に防鳥ネットの設置を計画しています。

もっと「みんなの里山」を広げたいと思っています。随時、メンバーを募集しています。

お問い合わせ
むれコミュニティ協議会
（担当　平田）
TEL 845-4111

地域のチカラで不法投棄撲滅！！

源平屋島合戦の古戦場として歴史ある牟礼・庵治町の景観を守るため「第1回むれ・あじ源平の里クリーン作戦」が2月17日、地域住民やボランティア約1千人が参加して、山中に不法投棄された大型テレビ・洗濯機などの家電製品や道路わきに捨てられた空缶・ペットボトルなどのごみの撤去に汗を流しました。

家庭ごみや事業所の一般廃棄物、産業廃棄物は決められたルールに従って、不法投棄を許さない地域を住民の協力でつくりましょう。

地域住民が防災意識を高めよう！

地域住民の防災意識を高めようと2月17日，牟礼北小学校で校区内22自治会、自主防災会、小学校が合同で約700人の参加者で防災訓練が行われました。

防災訓練は午前8時から、大規模な地震、津波が発生して被害が出ているとの想定で、速やかな避難や初期消火活動などを体感しました。

住民は、児童とバケツリレーによる初期消火や土のう積み工法ほか、白木渡香川大学危機管理研究センター長から「地震から身を守る」話などで、地域住民の、防災意識を高めることができた一日でした。